

平成30年産 JAいわて花巻「限定純情米」栽培暦

西和賀地域

月	3月		4月		5月			6月			7月			8月			9月			10月		11月	
旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
ステージ	出芽・緑化・硬化				活着期			有効分けつ決定期			幼穂形成期(7/14~18頃)			出穂期(8/6~10頃)			登熟期			成熟期(9/25頃~)			
水管理	除草剤散布後は4日以上止め水											中干し		低温時深水管理			高温で経過する場合は、深水にしない						
作業内容	種子準備 種子消毒 種子浸漬 床土準備		催芽・播種 加温出芽・育苗 畦畔補修 耕起		基肥施用 代掻き 田植え 病虫害防除 除草剤散布			取置き苗除去 溝切り 畦畔草刈			深水管理 畦畔草刈 追肥			湛水管理 カメムシ防除 穂いもち防除			畦畔草刈 落水作業			刈取り 乾燥調整 出荷		有機質・土壌改良資材の散布 秋耕	
管理作業	種子浸漬 積算水温100℃~120℃が目安 浸種日数(10日~14日) プール育苗準備		種子消毒 催芽:ハト胸状態 播種4月15日頃 乾籾重120g/箱 加温出芽長5mm 育苗日数30日3葉 畦畔補修 あぜ塗り機 漏水防止 冷害防止と除草剤の効果		育苗:徒長にならないよう 早めの開放 均平に代掻き 適期田植え 植付け本数確保 穂数確保に60~70株/坪、 4~6本/株植え 除草剤散布 水深に注意			溝切りは、6月末に中干しと併せて行なう 取置き苗は有害なので、6月上旬までに除去 除草剤散布 ホタルイ・クログワイが発生する圃場は防除します			水管理徹底 深水管理 止め葉が出始める頃、低温時は特に深水 畦畔の水漏れに注意 7月下旬から常時湛水管理 追肥は幼穂形成期 上限は、N 2kg/10a、 出穂後はしない 穂いもち 予防防除の徹底			湛水管理 8月末まで田面を出さない カメムシ防除 周辺牧草と畦畔の草刈は7月下旬までに終了 薬剤防除は、穂揃7日後			落水作業 早期落水はしない 溝を排水路につなぐ 適期刈取り 出穂後50日前後 穂の80~90%黄色 登熟積算温度950~1050℃ ☆適期刈取り判定シート活用			乾燥調製 二段乾燥の励行 仕上げ水分:15%以下 ふるい目:1.9mm使用 整粒歩合:80%以上		土壌改良剤散布	
安全・安心	生産履歴記帳の開始											栽培管理記録簿配布・提出											
	生産者チェックシート											12月に「生産者チェックシート」を配布します。水稻の生産工程管理手法に関する項目をチェックし、「安全・安心」への手法を普及します。											
病害虫雑草防除	■いもち病■ 種子消毒 <温湯消毒> 育苗センターにて消毒した種子の引き渡し 葉いもち防除 ・箱施用徹底 <Dr.オリゼフェルテラ箱粒剤> 育苗箱施用:50g/箱 基準量の散布を厳守する。 田植え3日前~当日 穂いもち防除 ・予防防除の徹底 <コラトップ> 無人ヘリ:1kg/10a、粒剤:1.5kg/10a ジャンボ剤:10a当たり50g/パック13個		■細菌病・立枯れ病■ 苗立枯病防除 <タチガレエースM液剤> 播種時又は発芽後に500~1000倍に希釈し1箱当たり500ml散布 ・耕種の防除が基本 ①催芽30℃ ②加温出芽30℃ ③育苗管理 ・細菌病を出さないよう温度を上げすぎない。 ・育苗ハウスの開閉をこまめに行い、高温にならないよう管理する。 ・かん水は、過かん水にならないよう ・プール育苗の実践 ・薄播きによる健苗づくり		■紋枯病■ ・代掻き後のゴミあげで菌核除去 ■畦畔草刈■ ・こまめな草刈りでカメムシ被害を減少 重点刈取り時期 ・6月中旬 ・7月下旬 ■カメムシ防除■ <スタークル粉剤DL> 3kg/10a <スタークル液剤10> 1,000倍 60~150g/10a 散布時期 穂揃 7日後		■雑草対策■ ①畦畔塗り ・漏水防止 ②代掻き・ゴミあげ ・均平確保と雑草種子除去(雑草発芽抑制と除草剤効果向上) ③除草剤散布 <アップレZ> 1キロ粒剤 : 1kg/10a フロアブル : 500ml/10a ジャンボ : 400g/10a <バサグラン> 多年生雑草対策、落水状態使用 粒剤: 3kg/10a(収穫60日前まで) 液剤: 500~700ml/10a(同50日)		土づくり ワーコム10 10kg/10a 賢治の教え1号・2号 60kg/10a 基肥 愛農土2号(追肥省略タイプ) 40kg/10a 愛農土3号・4号 40kg/10a ペースト 40kg/10a たんぼの味方1号(土づくり兼用タイプ) 80kg/10a たんぼの味方2号(土づくり兼用追肥省略タイプ)100kg/10a * 土壌条件によって施肥量を加減。		追肥 NKC-17号 6~9kg/10a * 追肥は生育状況、天候に応じて量、時期を調整する。 * 基肥に追肥省略タイプを使用した場合は追肥しない。 * 茎・葉が軟弱な場合は、けい酸加里を中干し前に追肥。												